

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 13)

件名	蒸気の漏えいに伴う火災警報装置の作動	
事象の概要	分離建屋: 火災感知器 蒸気設備の運転中 非放射性的の蒸気配管のフランジ部から漏えいたした蒸気を火災感知器が感知し、火災警報が作動 * 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な火災警報装置の作動が予想される。	
事象による影響	(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 分離建屋換気設備が稼働している室内での火災感知器の作動及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響はない。	
(2) 安全性への影響	安全上の問題は生じない。 火災警報の作動は、運転に直接関係するものではなく、また、一般蒸気は安全上の目的に使用していないため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。	
(3) 作業員への影響	作業員への影響は生じない。 火災警報の復旧は放射性物質に関連した作業ではなく、また、漏えいは放射性物質を含まない蒸気であり、放射性物質による汚染、被ばくなどの影響は生じない。ただし、高温高压の蒸気を多量に取扱う設備でのトラブルのため、作業員は火傷防止のための安全保護具などを着用し、定められた保守作業手順に従い作業を行うことで、作業員への一般災害への影響を防止する。	
(4) 他工程への影響	他工程への影響は生じない、または上流、下流の工程の運転に影響が生じる。 火災警報の作動は、運転に直接関係するものではなく、他工程への影響はない。また、予備供給系統を有する蒸気供給系での漏えいの場合、システムを切り替えることにより、他工程への影響は生じない。また、予備供給系統を有しない部分では、当該部分につながる設備の運転に影響が生じる場合がある。	
対応の概要	(1) 火災警報が作動した区域の点検を行い、蒸気系の配管継手部から蒸気が漏れていることを確認し、火災警報装置は実火災による作動ではなく蒸気による作動であることを確認する。 (2) 蒸気供給弁を閉じて蒸気供給を停止する。配管継手、配管、弁など関連設備の破損状況を調査、確認する。 (3) 破損した配管継手のパッキン、締め付けボルトなど定められた保守作業手順に従って交換、保守を行い、正常に保守が完了したことを確認するため、蒸気を用いた運転を行い異常がないことを確認した後に正常運転に復帰させる。なお、予備供給系統を有する蒸気系では、システムを切り替えて運転する場合もある。	
公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 0以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射線物質の外部放出 工場外への影響 日本原燃による評価: レベル0以下 放射線物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化
	(b) 運転系統を切り替えて復旧	
	(c) 当該機器を停止して復旧	
	(d) 当該設備を停止して復旧	
	(e) 影響範囲の設備を停止	

